

社会福祉法人 溪明会

令和3年度 事業計画・予算概要

事業計画	P 2~10
予算概要	P11~18

基本理念

私たちは、誰もが一人の人間としての尊厳に満ち、社会の一員として、その人らしく、豊かで実り多い人生を送れるよう支援します。

基本方針

- 1 人権を尊重し、一人ひとりかけがえのない存在として大切にします。
- 2 利用者の声に耳を傾け、自ら選択、決定したことを尊重します。
- 3 利用者が地域の中で生活していくための、自立の向上と社会参加を支援します。
- 4 個々のプライバシーを守り、安心した生活が送れるよう配慮します。

令和3年度 事業計画

第2次中期経営計画の実行計画を推進

1. 安定した経営基盤の確立

- 1)適切な収入の確保
 - 目標稼働率設定、実現努力
 - ・障害福祉サービス収入の対前年比2%増
 - ・法人全体として稼働率は過去3か年の平均以上
- 2)経費削減
 - 水道光熱費削減
 - ・月ごとの水光熱費の集計、分析
 - ・各事業所水光熱費前年度比1%減
- 3)毎月の経営状況確認
 - 監事監査：決算監査、中間監査
 - 毎月の業務、収支：状況報告・職員へ周知

2. 利用者様本位の支援の確立 「自分らしく生きる」に寄り添う支援

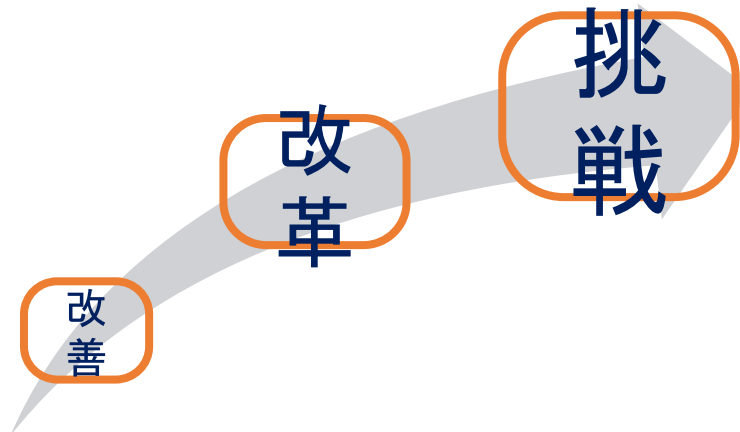
- 1)利用者様の権利擁護・自己決定の尊重
 - 意思決定支援の取り組み
 - ・自治会運営の支援
 - ・意思決定支援に関わる研修への参加と支援の実践
 - 虐待防止マニュアルの見直しと周知
 - 虐待防止チェックシート作成、実施
 - 権利擁護の推進
 - ・各事業所会議にて権利擁護の話し合いと取り組み
- 2)支援スキルの向上
 - 専門的な支援が必要な利用者様に対しての重点的な取り組みとその情報共有：事例検討および報告（年1回）

3. 将来を見据えた施設整備

- 「施設整備・補修計画」の策定
- 現施設の大規模補修
 - ・「施設整備計画書」に基づいて実施
 - 現施設の改良、改修
 - ・年1回、見直しを行い、必要があれば修正を行う

4. 人材・育成(事業は人なり)

- 1)人事考課制度の適正な構築
 - キャリアパス制度の定着
 - 働きがいのある制度作り
 - ・人材教育マニュアルの実施、評価
- 2)職場研修の推進
 - OJT
 - OFF-JT：職員公募制派遣研修の検討
 - SDS：人材教育マニュアルの実施、評価
- 3)資格取得支援制度導入
 - 資格制度導入調査・研究：実施、見直しの検討



5. 業務管理、情報共有、作業効率化

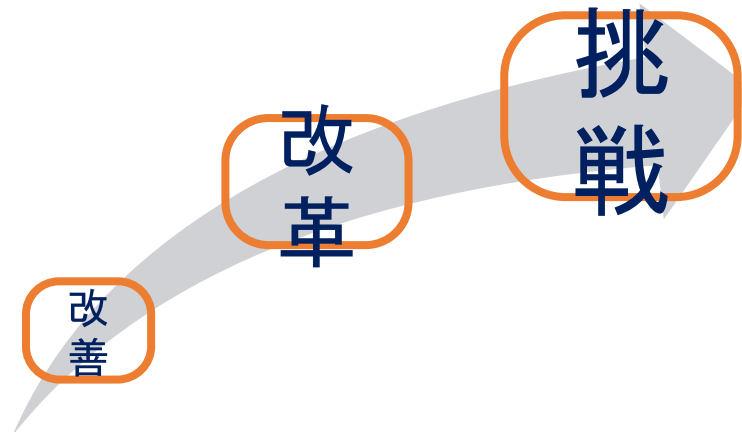
- 1)業務の効率化（「ムリ」「ムダ」「ムラ」の排除）
法人内情報のIT化（会議）
業務の効率化・スリム化
・効率化の実施・見直し
- 2)「提案制度」の実施
業務の改善の提案によるサービスの向上とコスト削減
・改善提案制度の実施、見直しの検討
- 3)業務の標準化
業務マニュアルの作成・見直し
・随時見直し修正

6. 地域との交流連携の推進 地域社会に貢献

- 1)外部関係者の利用者様・法人活動への理解
ボランティア、実習生、見学者の積極的な受け入れ
・前年度以上の受け入れ
- 2)地域資源の活用
地域資源の積極的な活用と事業所間での情報共有
・地域資源一覧の見直し・改定
- 3)地域関係機関との連携を強化
「手をつなぐとなみ野」他サービス提供事業所、地域の自治会、行政、医療機関等との連携の意識の向上
・「手をつなぐとなみ野」との更なる連携強化
・地域での公益的取組の検討・実施

7. 持続可能な経営

- 1)組織ガバナンスの強化
内部統制の強化
中期経営計画の周知・推進
・内部管理体制、職務分掌、決裁権限の明確化
・中期経営計画の進捗の管理と見直し
- 2)事業運営の透明性の確保
情報公開（HP、広報紙、イメージアップ）
外部監査の実施
第三者評価事業の実施
・経営状況の開示 年4回
・法人単位広報紙の発行
・公認会計士による経営分析、診断
- 3)渉外、営業の推進
関係機関の訪問（病院、学校、施設、3市）
- 4)溪明会ブランドの確立
自主製品等開拓
新規事業検討
・新規事業の計画に沿って実施



全体計画

方針

- 1)障害福祉サービス制度を研究活用し合理的に安定した収入を図る
 - ・加算を効率的に適用させる
 - ・制度上の制限を活用した運用により稼働効率を上げる
- 2)重度・高齢化する利用者様への対応方針の策定
 - ・利用者様の重度・高齢化に対して、法人施策により一体的に取り組む
- 3)地域移行ニーズ調査(ソフト)環境整備(ハード)の検討
 - ・地域移行に関するニーズを把握し、整備に向けて検討する
- 4)利用者様の個々を大切した空間づくりの推進
 - ・利用者様個々のニーズに即したプライベートゾーンと集団等での支援活動を考慮した空間づくりの検討及び推進
- 5)利用者様の健康的な生活を守る
 - ・時代に対応した新しい生活様式を取り入れて感染を予防し、利用者様の健康と生活の質を守る
- 6)多種多様なメディア、ツールを用いた積極的な情報発信
 - ・事業活動の情報発信により法人の魅力を広く伝え、溪明会の周知理解を促進すると共に経営の透明性を図る
- 7)地域のナンバー1法人を目指す
 - ・利用サービス、事業規模、地域貢献活動、雇用処遇など、地域におけるナンバー1法人を目指す
- 8)溪明ロードの推進
 - ・キャリアパス制度の実施及び人材育成の推進を図る

事業推進

1)放課後等デイサービス事業所 きっずるーむごみ事業開始：令和3年4月

放課後等デイサービス事業、定員10名
富山県小矢部市石動町18番11号

2)花椿かがやき 焼野出張所の開設：改修4～5月、事業開始6月予定

花椿かがやき就労継続B型事業を拡充し、弁当宅配事業を実施
職員3名、利用者5～6名(就労継続B型事業定員を5名増の17名とする)
南砺市焼野36-1

事業所取り組み

障害者支援施設 溪明園からまつ

生活介護事業活動の充実

- ・ うるおいやゆとりのある生活を目的に、花壇づくりを通して、情操を育む

障害者支援施設 溪明園あすなろ

高齢利用者様や強度行動障害等、専門的な支援が必要な利用者様への取り組みの実施

- ・ 高齢利用者様等6人を対象に理学療法士による専門的なプログラムを年6回実施する
- ・ 強度行動障害に関する専門知識及びスキルの向上を目的にOJT並びにOff-JT研修を実施し、基礎的支援、記録方法を習得する

共通の取り組み(溪明園からまつ、溪明園あすなろ)

1)利用者様とご家族をつなぐ活動の継続実施

- ・ コロナ禍での帰省等に制限を設けつつも、のぞみの家をご家族との面会等交流スペースとして整備し活用する
- ・ 毎月のお便り、法人ホームページを通じての活動の様子を紹介、リモートによる面会を推進し、家族との繋がりを切らさず継続する

2)感染症予防

- ・ コロナをはじめとした感染症対策として環境及び体制をハード（のぞみの家の隔離棟）ソフト（専門研修、マニュアル見直し整備、模擬訓練）の両面で整備する
- ・ 衝立の設置等による安心安全に配慮した食事となるよう食事体制を見直し、予防環境を整える

3)溪明園の老朽化に向けた検討、溪明園全体の再編

- ・ 35年経過した建物の今後の在り方について、年度内に方針化する
-

多機能型事業所 溪明園めるへん

- 1) コロナ禍を想定した販売スタイルを構築し、収入安定による工賃の向上を目指す
 - ・ SNS（インスタグラム、ライン）への商品情報掲載、ホームページの更新
 - ・ 法人内流通の確立、企業連携
- 2) 製造過程の一部機械化により、商品の生産・作業効率・業務改善に繋げる
 - ・ 製造工程を見直すと共に、機械化により効率化し生産性を向上させる
- 3) 活動内容の充実による利用満足度の向上を目指す
 - ・ 音楽療法、臨床美術、スポーツレクリエーション、身体運動（ゲーム機などの使用）活動の充実

ホームやつわ、ホームあやこ、ホームいするぎ

- 1) コロナ禍におけるホームの余暇を充実させる
 - ・ 外出などが制限される環境にあって、インターネットの活用などでホーム内余暇支援の充実を図る
- 2) 住環境の整備
 - ・ 設備の老朽化に対し、日頃からの点検や早期修理等の対応を実施し安心安全な環境を提供する

日中サービス支援型ホームごごみ

- 1) 利用者様の機能訓練の取組み
 - ・ 理学療法士又は作業療法士により、利用者様8名を対象に年6回の機能訓練を実施し、日中の活動等に組み入れる
- 2) 利用者様及び職員の夜間支援の負担軽減
 - ・ ICTを活用した居眠りセンサー導入により、夜間の利用者様の睡眠状況の把握

放課後等デイサービス事業所 きっずるーむごごみ

- 丁寧な個別対応によりサービスの質の向上を図る
- ・ 発達障害の特性について、内部、外部研修をそれぞれ年1回ずつ実施し、理解を深める。
 - ・ よい支援に繋がるよう丁寧なアセスメントを行い、得意なこと、好きなことを活動に活かす
 - ・ 地域の利用ニーズに常に耳を傾け、定数等柔軟に対応する

事業所取り組み

障害者支援施設 花椿きらめき

「ひまわりプロジェクト」から「四季折々のお花のある暮らし・ものづくり」でつながる地域交流の実施

- ・花壇や施設周囲のフェンス等に四季折々のお花を植えて、育てる活動を支援する
- ・押し花・ドライフラワー等を通じた作品と製品（押し花×和紙）づくりを支援する
- ・アルミ缶回収先で「ありがとうカード（押し花×和紙）」を活用し、日々の感謝を伝えていく
- ・カブトムシ交流に加えて、保育園との文通（押し花×和紙）を実施する
- ・ご家族と絆を感じるため、利用者様がご家族に「元気だよカード（押し花×和紙）」を発送する。

障害者支援施設 花椿あおぞら

花椿自主製品のブランド化、農福連携の推進

- ・井口地域の生産組合等連携し、黒豆、にんにくを生産し、利用者様に合った収穫、加工などの支援を提供する
- ・黒ニンニク・ニンニクチップなどの加工品質を向上させ、農産物直売所で販売する

共通の取り組み(花椿きらめき、花椿あおぞら)

- 1)大根のビール漬けのブランド化を目指した生産ラインの再編成
 - ・大根のビール漬けのブランド化に向けて、1年を通じて商品を安定して供給するため、栽培・収穫・製造・出荷販売の生産ラインを各事業所で分担して行う
- 2)花椿通所の独立した事業所づくり・生活空間の個室化の検討
 - ・令和5年を目指し、花椿通所の独立した生活介護事業所づくりを検討する
 - ・花椿の各通りの生活空間の個室化を検討する

多機能型事業所 花椿かがやき

- 1) 新規事業に挑戦し、利用者様に選ばれる事業所を目指す
 - ・ 弁当製造を開始し、安定した作業提供、作業工賃の支払いを行う
- 2) 地域活動に積極的に取り組み、花椿かがやきブランドを広める
 - ・ 自主製品の味噌の安定製造、商品種類を拡充する
 - ・ 農産物販売所、地域団体と交流を深め、花椿かがやきブランドを広めていく
 - ・ 利用者様創作作品をオリジナルアートとして広めていく
- 3) 利用者様の心身の健康に留意し、個々の特性にあったプログラムの提供に努める
 - ・ 作業前の体操の継続して実施していく
 - ・ 高齢利用者様に合わせた軽作業の提供を行っていく

ホーム柴田屋、ホーム柴田屋みなみ、ホーム庄川、ホーム庄川第2

- 1) 高齢利用者様に配慮した暮らしの提供と世話人教育を重点的に実施
 - ・ 高齢者に寄り添った日課の見直しと、世話人教育を充実させる
- 2) ICTを活用し業務の効率化を図る
 - ・ 各ホームのタブレットとスマートフォンにて、職員間の情報共有の円滑化と担当職員の負担軽減を図る

事業所取り組み

障がい者サポートセンターきらり

- 1)質の高い支援を行うための職員研修の推進
 - ・多様化する相談者へ対応するための職員研修により人材育成を図り、質の高い支援を行う
- 2)困難なケースに対し、支援方法を検討するケース検討会議の開催
 - ・事業所内で情報共有を行い、多角的視点から困難ケースに対応していく
- 3)相談者のニーズを充足させるため、地域関係機関との連携を強化
 - ・多面的な支えが必要な相談者に対して、職場、家庭、関係機関と連絡・調整や情報共有を図り、支援体制を構築していく

放課後等デイサービス事業所 きっずるーむクローバー

- 1)地域資源を活用したプログラムを提供
 - ・地域の図書館や体育館を利用したプログラムを提供する
 - ・地域と連携して災害訓練を継続する
- 2)IOTを活用した支援プログラムの活用と情報発信
 - ・新型コロナウイルス感染拡大防止策に伴う環境と支援体制の整備を図る
 - ・IOTを活用した新たな支援プログラムの活用を検討する
- 3)可視化による支援の標準化
 - ・可視化により支援プログラムの手順やポイントを職員間で共有する
 - ・個別特性を理解するためのスキルアップ研修に参加する

砺波圏域障害者基幹相談支援センター

- 1)砺波地域障害者自立支援協議会の各種庶務担当による圏域内事業所及び関係機関との連携強化
 - ・自立支援協議会の運営を通じ、圏域内の全ての事業所及び関係機関と情報交換、情報共有を行い、連携の強化を進める
- 2)基幹相談支援センター事業を圏域で唯一受託できる法人であることの周知
 - ・県内で3つしかない障害者基幹相談支援センターを運営する法人として、法人の実績、実力等を広く示し、サービス利用や求職者に選ばれる法人となる